

【様式 1 - 1】

大川村 長寿命化修繕計画

令和4年9月

令和6年12月 第一回変更

大川村 むらづくり推進課

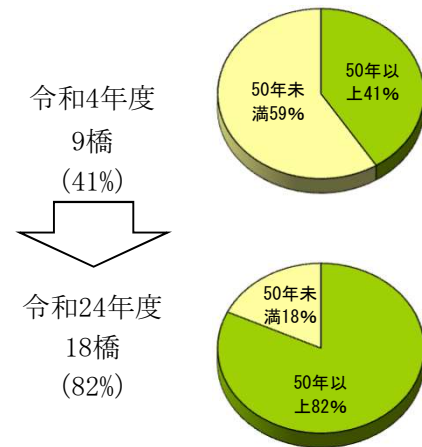
1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

大川村が管理する橋梁は、令和4年度現在で22橋架設されている。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の41%を占めており、20年後の令和24年には、82%程度に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念される。



2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト削減のためには、従来の対症療法型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで大川村では、将来的な財政負担の低減および道路交通安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	村道 1級	村道 2級	村道 その他	合計
全管理橋梁数	8	5	9	22
うち計画の対象橋梁数	8	5	9	22
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち令和4年度計画策定橋梁数	8	5	9	22

長寿命化修繕計画の対象：

- ・ 緊急輸送路に位置する橋梁
- ・ 桁下に道路がある橋梁
- ・ 観光地へのアクセス道路に位置する橋梁
- ・ バス路線に位置する橋梁
- ・ 市町村間を結ぶ路線に位置する橋梁
- ・ 国道、主要地方道へのアクセス路線に位置する橋梁
- ・ 近隣に重要な施設がある橋梁

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

定期点検（概略点検）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

パトロール車による走行面の変状について点検を行う。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

大川村が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は全体の約82%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想される。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減する。

令和9年度までの5年間において、大川村が管理する橋梁のうち、約5%に当たる1橋の施設において、費用の縮減や事業の効率化が見込まれる新技術(国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)等)を活用することで従来技術を活用した場合と比較して、約5百万円程度のコスト縮減を目指す。

定期点検及び修繕対策の詳細設計においても新技術の活用を含めた比較検討を行い、業務のコスト縮減が図れる有効な新技術・新工法を採用する。

現時点で橋梁の集約化・撤去は考慮していないが、今後の点検結果及び利用状況、財政状況、地元の意見を踏まえて、集約化・撤去の可能性も視野に入れた検討を行う。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

様式1－2による

6. 集約化・撤去等の方針及び短期的なコスト縮減効果の数値目標

10年後である令和16年度までに、大川村が管理する橋梁のうち、約5%に当たる1橋の施設において、集約化・撤去を行い、今後10年間の維持管理に係る修繕等の費用を約2百万円程度縮減することを目標とする。

想定橋梁：村道小北川線の橋梁

【様式１－２】

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例：↔ 対策を実施すべき時期を示す。

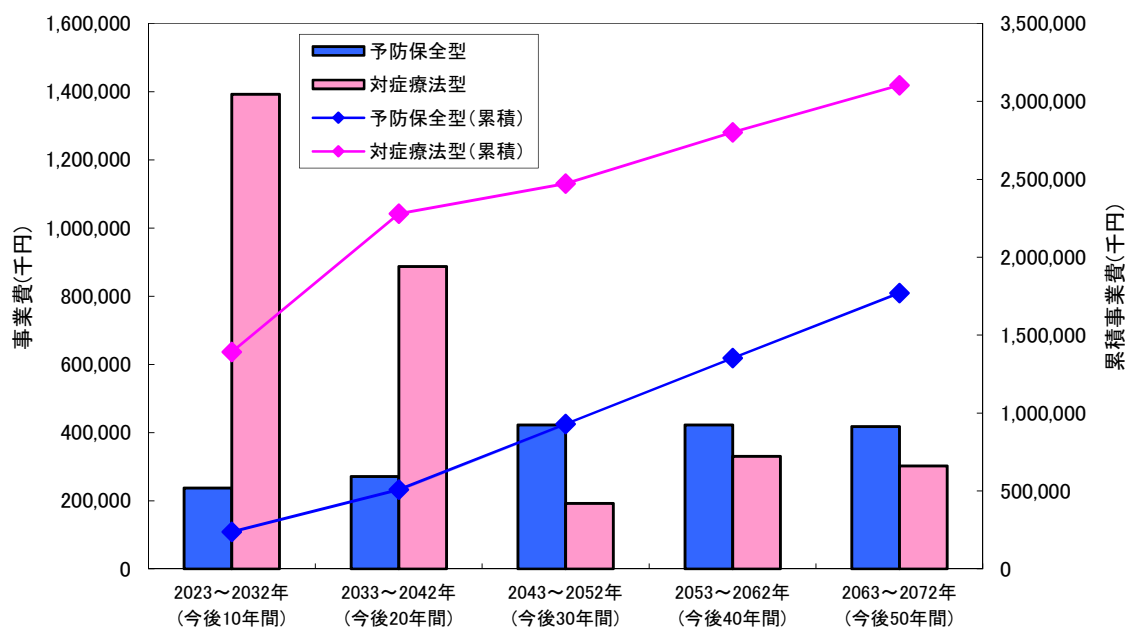
橋梁名	道路種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	対策の内容・時期									
							R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
新大平橋	村道	小北川線	34	2006	17	R3				点検				設計	主部材：塗装等 点検	
小麦畝橋	村道	小北川線	15.6	1998	25	R3				点検				設計	主部材：塗装等 点検	
小金滝橋	村道	下小南川線	111.7	1971	52	R6	設計	設計	主部材：支承修繕等 点検						点検	
白滝橋	村道	朝谷線	60	1977	46	R3	主部材：2種ケレン&塗装 設計			点検					点検	
三ツ石橋	村道	高野・中切線	178.5	1972	51	R6	設計		主部材：1種ケレン&塗装等 点検						点検	
無名橋	村道	横窪線	3.35	1981	42	R3				点検					点検	
大北川橋	村道	横窪線	18.4	1973	50	R3				点検				設計	主部材：塗装等 点検	
アイノタニ橋	村道	小北川線	5.5	1957	66	R3				点検					点検	
アカダキ橋	村道	小北川線	12.5	1977	46	R3				点検					点検	設計
ヨコダキ橋	村道	小北川線	13.3	1977	46	R3				点検					点検	
志遊美橋	村道	小北川線	14	1963	60	R3				点検					点検	設計
押越橋	村道	小北川線	3.9	1975	48	R3				点検					点検	設計
小北川橋	村道	小北川線	8	1966	57	R3				点検 設計	床版：床版防水工&上面増厚等				点検	
朝谷橋	村道	朝谷線	10.4	1969	54	R3				点検					点検	
野地橋	村道	朝谷線	4.55	1967	56	R3				点検					点検	設計
十辺利谷橋	村道	大北川線	13.6	1963	60	R3				点検			設計	床版：上面増厚等 点検		
中河市橋	村道	大北川線	11.5	1976	47	R3				点検				設計	主部材：塗装等 点検	
中川市橋	村道	大北川線	6.5	1980	43	R3				点検					点検	設計
茅久保橋	村道	大北川線	12.2	2006	17	R3				点検					点検	
水谷橋	村道	中川線	7	1961	62	R3				点検				伸縮装置：取替(始端側)等 設計	点検	
葛橋	村道	葛橋線	11.5	1979	44	R3				点検			設計	床版：上面増厚等 設計	点検	
山ノ神谷橋	村道	青木・大平線	10	2008	15	R3	主部材：持ち上げ 設計			点検					点検	
合 計 (千円)							40,422	49,034	24,176	46,930	18,316		2,914	20,296	33,020	2,276

7. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する22橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が31億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が18億円となり、コスト削減効果は13億円となる。

なお、予防保全型は予算制限を設けた事業費である。

損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



8. 計画策定担当部署

1) 計画策定担当部署

大川村 むらづくり推進課 tel : 0887-84-2211